

熱中症防止

梅雨が明け、酷暑が続いています。こうした中、子どもたちの熱中症が心配になります。学校では登下校、体育、外遊びのマスク着用は必要ないと子どもたちに話していますが、2年間身につけている習慣なのでなかなか外せないようです。

本校では外での活動に基準を設けています。まず、気温です。気温が体温を超える38度になった段階で、外での活動は中止としています。また、気温が38度に満たなくても「暑さ指数」が31度を超えた段階で活動中止としています。本校では外に1つ、体育館に1つ、暑さ指数が計れる温度計を設置しています。こちらを見ながら外での活動の判断をしています。今週に入ってから朝マラソンは全て中止となっており、昨日、今日は昼休みの外遊びを中止しています。暑さに耐える体、夏場の体力向上のために外遊びを推奨していますが、こうした暑さ対策の中で基準を設けて活動を行っています。



※写真は今日の12時の気温です。左が校庭、右が体育館です。